

令和8年度 京都府立大学 一般選抜試験（前期日程）  
入学者選抜学力検査 「歴史」

【日本史】

○解答例・出題意図・配点

1 (配点 歴史学科は120点、他学科は60点)

- 問1 朱雀大路 問2 道（七道） 問3 藤原仲麻呂（恵美押勝）  
問4 駅家（駅） 問5 運脚 問6 受領 問7 後一条・後朱雀・後冷泉  
問8 成功 問9 保元の乱 問10 大仏様（天竺様も可）  
問11 青蓮院流（御家流も可） 問12 正法眼蔵 問13 無学祖元 問14 頂相  
問15 京都所司代 問16 城代 問17 郡代 問18 権現造 問19 近藤重蔵

2 (配点 歴史学科は140点、他学科は70点)

- 問1 甲州道中 問2 寺社・勘定・町（江戸町）奉行 問3 目安箱（の設置）  
問4 小石川養生所 問5 大坂・江戸 問6 樽（廻船） 問7 株仲間の解散  
問8 水野忠邦 問9 大元帥 問10 軍人勅諭  
問11 （法令）徴兵令、（組織）鎮台 問12 統帥権（統帥大権）  
問13 自由民権運動 問14 預金 問15 昭和天皇（裕仁）  
問16 （憲法・選挙法などの特別な）法律（・会計・条約など）について、天皇の諮問に答えること。  
問17 第二次世界大戦後の猛烈なインフレーションを抑制するため（貨幣流通量を減らすため）  
問18 幣原喜重郎

3 (配点 70点)

【出題意図ならびに評価基準】

第一次世界大戦後の中国やアジアの植民地で勃興した独立運動、民族運動の流れを問うた。ウィルソンの「民族自決主義」に刺激を受け、朝鮮ではそれまでの「武断政治」への不満から三・一運動が起こり、日本が「文化政治」を施行せざるを得なくなったこと、中国では日本の「二十一か条の要求」への反対から五・四運動が起こり広がったこと、インドシナ半島でのホー＝チ＝ミンたちの動き、インドネシアのスカルノの運動など各地域で、その後の独立の中核となる人物や政党が活動し、弾圧されたことなどを押さえられているかを、評価の基準とした。

4 (配点 70点)

本問は、歴史学科志望の受験生に限定した問題である。ある特定の時代にかかわる歴史事象を、字数制限を設けずに論述させることによって、その理解度および文章表現力を試すことを目的とする。以下に、各選択問題の出題意図ならびに評価基準を記す。

(A) 鎌倉時代の政治構造の根幹にある朝廷と幕府の相互関係が、承久の乱によってどのように変化したのかを問うた。源頼朝の時代に、寿永二年十月宣旨で朝廷から認められた東国支配権を中核に、幕府は守護・地頭の設置と御家人による京都大番役勤仕、頼朝の右大将・征夷大將軍任官を通じて

日本全国の軍事警察権を担うに至る。ただし官位叙任権を持ち、一般行政を行ったのは朝廷で、国衛を通じ全国支配を行い、非御家人の武士勢力も掌握していた。こうして朝幕二元支配が行われた。承久の乱をきっかけに、幕府が天皇を廃位・擁立し皇位継承に関与したことで、幕府による朝廷政治への干渉が始まった。また後鳥羽上皇方所領没官領への新補地頭設置（武士の西遷、西国荘公への勢力拡大）や、六波羅探題による京都・西国支配の開始（朝廷監視、西国裁判）により、幕府の地位は大幅に向上し、朝廷が幕府に依存する構造が出来た。以上について、朝廷・幕府のそれぞれの役割の相違と承久の乱による役割の変化について、内容を正確に理解し、整合的に説明できているかを、評価の基準とした。

(B) 江戸時代の貨幣制度について、複数の貨幣が使われていた事実を踏まえながら、中世とも近代とも異なる近世という歴史段階を正確に理解できるかを問うた。論述にあたっては手がかりとなる語句を提示して、(1) 中世日本では宋銭・明銭などの中国の銭に依存していたこと、(2) 近世では江戸幕府が統一権力として貨幣鑄造権を独占していたこと、(3) 複数の貨幣が併存するとともに各藩でも藩札が発行されたこと、(4) 近代において統一的な貨幣制度が構築されたこと、という各時代の特徴が理解できるかを問うた。日本近世の特徴について、中世および近代との連続面・相違点に注意しながら、貨幣制度の面から正確に理解し、なおかつ論理的に説明できているかを、評価の基準とした。

## 【世界史】

### ○解答例・出題意図・配点

1 (配点 100点)

問1 キケロ 問2 三段櫓船

問3 厳密な史料批判にもとづく、実証主義的な歴史学。

問4 ヴェルダン 問5 ユーグ=カペー 問6 マジャール

問7 パレルモ 問8 フランソワ1世 問9 メディチ

問10 レオナルド=ダ=ヴィンチ 問11 スールヤヴァルマン2世

問12 アンコール=トム 問13 三仏斎(ジャーヴァカ)

問14 スコータイ 問15 陳 問16 マジャパヒト王国

問17 市舶司 問18 湖広熟すれば天下足る 問19 景德鎮

問20 赤絵 問21 会館 問22 オランダ

問23 広州 問24 公行(行商)

問25 丁税(人頭税)を地銀(土地税)に繰り込み、一本化した税制。

2 配点 歴史学科は120点、他学科は60点)

問1 五胡十六国 問2 拓跋 問3 漢化 問4 楊堅

問5 柔然 問6 絹馬 問7 安祿山/史思明 問8 士大夫

問9 文人画 問10 徽宗 問11 ティムール 問12 1453

問13 マムルーク 問14 メッカ/メディナ

問15 暗殺された4代目正統カリフのアリーを信奉し、ウマイヤ朝の支配を正統とは認めない宗派。

問16 アッバース1世 問17 イマームのモスク

3 (配点 歴史学科は 60 点、他学科は 40 点)

【出題意図ならびに評価基準】

第一次世界大戦後の中国やアジアの植民地で勃興した独立運動、民族運動の流れを問うた。ウィルソンの「民族自決主義」に刺激を受け、朝鮮ではそれまでの「武断政治」への不満から三・一運動が起こり、日本が「文化政治」を施行せざるを得なくなったこと、中国では日本の「二十一か条の要求」への反対から五・四運動が起こり広がったこと、インドシナ半島でのホー=チ=ミンたちの動き、インドネシアのスカルノの運動など各地域で、その後の独立の中核となる人物や政党が活動し、弾圧されたことなどを押さえられているかを、評価の基準とした。

4 (配点 120 点)

本問は、歴史学科志望の受験生に限定した問題である。ある特定の地域・時代にかかわる歴史事象を、字数制限を設けずに論述させることによって、その理解度および文章表現力を試すことを目的とする。以下に、各選択問題の出題意図ならびに評価基準を記す。

(A) 女真族が完顔阿骨打によって統一されたこと、遼滅亡後、宋と金が対立し北宋が滅亡し、南宋が建国されたこと、南宋では主戦派と和平派の対立があったが、主戦派の岳飛が処刑され、淮河を境界とする和議が結ばれたこと、それによって毎年多額の銀・絹などが貢納物として宋から金に貢納されたこと、などを手がかりとなる語句を示して理解を問うた。以上のような点を中心に、語句の正確な理解、史実経過に対する的確な把握、論理的な説明を含めて、評価の基準とした。

(B) 13 世紀半ばから 14 世紀半ばの約 100 年に及んだイル=ハン国による西アジア支配について理解できているかを問うた。(1) チンギス=カンによって、1231 年にホラズム=シャー朝がまず滅ぼされたこと、(2) 1258 年にフレグがアッバース朝を滅ぼし、イル=ハン国を建てたこと、(3) ガザン=ハンと宰相ラシード=アッディーンのもと、ムスリムとの融和がはかられ、『集史』の編纂がおこなわれるなど最盛期がもたされたこと、などを正確に理解できているかどうかを、評価の基準とした。

(C) ウィーン体制下のヨーロッパが現代ヨーロッパの形に変わっていくうえで、イタリア統一は不可欠の出来事である。そのイタリア統一の歴史的経緯について、基本的な知識と理解を問うた。19 世紀半ば以降のイタリア統一運動は、サルデーニャ王国中心の上からの統一と、ガリバルディの活動で進められる。1861 年のイタリア王国成立で記述を止めず、その後の教皇領の併合や、未回収のイタリアの回復を目指す動きなども含めて論述できていることを、評価の基準とした。